

# 児童生徒の体力づくりと健康教育

令和8年4月

兵庫県教育委員会事務局体育保健課

# 目 次

令和 8 年度体育保健課 施策体系表 . . . . .	02
<b>I 「健やかな体」の育成</b>	
<b>1 健康教育・食育の推進</b>	
(1) 学校保健体制整備の充実 . . . . .	03
(2) 学校における食育の推進 . . . . .	05
<b>2 体力・運動能力の向上</b>	
(1) みんなで体力チャレンジプロジェクト . . . . .	09
<b>3 部活動改革の推進</b>	
(1) 各種大会の状況 . . . . .	12
(2) 部活動の地域展開・地域連携の推進 . . . . .	14
<b>II 人生100年を通じた学びの推進</b>	
健康増進施設の充実 . . . . .	18
<b>III 子どもたちの安心・安全の確保</b>	
学校安全体制整備の充実 . . . . .	19



# 令和8年度 体育保健課 施策体系表

兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり  
 ～ 「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成～

予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進

「健やかな体」の育成

健康教育・食育の推進

学校保健体制整備の充実  
 学校における食育の推進

体力・運動能力の向上

部活動改革の推進

各種大会の状況  
 部活動の地域展開・地域連携の推進

人生100年を通じた学びの推進

健康増進施設の充実

すべての子どもたちが自分らしく安心して過ごせる学校・家庭・地域等の構築

子どもたちの安心・安全の確保

安全教育の推進

学校安全体制整備の充実

## I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

## I 健康教育・食育の推進

保健安全にかかる教育や管理並びに学校保健安全体制  
学校保健活動全体を通じた食育を推進。家庭や地域等との連携

生涯を通じて自ら健康で安全な生活を送るための資質・能力を培う  
生涯にわたる望ましい食習慣の形成や食に関する自己管理能力を育成

## (1) 学校保健体制整備の充実 3,567千円

## ア 研究協議大会

研究協議会名	趣旨	期日	場所	内容	参加者	対象者
県立学校保健部長研究協議大会	学校保健及び学校安全に関する研究協議	令和8年5月20日	神戸市教育会館	保健安全に関する講演等	130名(R7)	県立学校保健部長、保健安全関係職員等
兵庫県学校保健研究協議大会	学校保健の充実を図るため安全教育の諸問題、児童生徒の健康増進の研究	令和8年10月29日	やぶ市民交流広場	講演 研究実践発表 表彰等	217名(R7)	校長、保健安全担当教諭、養護教諭、学校医、学校給食関係者、関係団体等
兵庫県学校保健主事・担当者研究協議大会	学校保健主事・担当者の資質向上、健康に関する諸問題の研究	令和8年11月26日	洲本市文化体育館	講演 校種別研究協議等	247名(R7)	小・中・高・特別支援学校保健主事・担当者等

## イ 各種研修会

研修会名	趣旨	期日	場所	内容	参加者	対象者
薬物乱用防止教室講習会	教職員の指導力向上、健康教育の充実	令和8年7月9日～7月10日	兵庫県学校厚生会館	最新の情報提供・講演・講習等	150名(R7)	学校医、学校薬剤師、保健師、学校保健担当者
健康教育研修会	児童生徒の実態に即した学校保健の充実	令和8年10月23日	県立総合教育センター	講演等	156名(R7)	小・中・高・特別支援学校教員等
性に関する指導エイズ教育研修会	教職員の指導力向上、健康教育の充実	令和8年11月6日	県立のじぎく会館	講演等	155名(R7)	小・中・高・特別支援学校教員等

# I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

## I 健康教育・食育の推進

保健安全にかかる教育や管理並びに学校保健安全体制の充実  
学校教育活動全体を通じた食育を推進。家庭や地域等との連携

生涯を通じて自ら健康で安全な生活を送るための資質・能力を培う  
生涯にわたる望ましい食習慣の形成や食に関する自己管理能力を育成

### (I) 学校保健体制整備の充実 3,567千円

#### ウ スクールヘルス推進事業(文部科学省補助事業) (2,567千円)

希望する2年目から4年目の新規採用者の勤務先に、経験豊富な退職養護教諭及び退職栄養教諭を派遣

取組	派遣人数	対象	内容
養護教諭	7名程度	年9回	実技指導及び助言
栄養教諭	2名程度	年9回	実地指導及び助言



【がん教育モデル校：丹波市立上久下小学校】

#### エ がん教育総合支援事業(文部科学省補助事業) (1,000千円)

学校におけるがん教育に関する推進体制を構築するため、モデル校を指定し実践研究を行うとともに、事業成果を普及する研修会等を開催

取組	内容	構成員及び対象
協議会の設置(年2回開催)	がん教育の計画作成の指導・助言、事業成果の検証	学識経験者、医師会関係者、学校保健関係者、県行政等
研修会、実践発表会の開催	講演会及び実践発表の指導助言、情報交換等	学校保健関係者、外部講師等 124名(R7)
モデル校での実践	専門家等による講演会、児童生徒意識調査	大学教授、医師等 4校(小学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校)
外部講師派遣事業	専門家等による講演会	がん拠点病院の医師・看護師等 10校程度(希望する県立学校)

## I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

## I 健康教育・食育の推進

保健安全にかかる教育や管理並びに学校保健安全体制の充実  
学校教育活動全体を通じた食育を推進。家庭や地域等との連携

生涯を通じて自ら健康で安全な生活を送るための資質・能力を培う  
生涯にわたる望ましい食習慣の形成や食に関する自己管理能力を育成

## (2) 学校における食育の推進 14,224,824千円

## ア 学校教育活動全体で行う食育の推進 (600千円)

取組	内容	期日	場所	参加者及び関係者
食育実践推進に関する有識者会議の開催	学校教育活動全体を通じた食育実践方法の検討等	年3回	県庁周辺	構成員：学識経験者、学校関係者等
高等学校「食に関する指導」推進研修会の開催	高等学校における食に関する指導の全体計画に基づく食育の推進	令和8年7月	県庁周辺	152名 (R7) 高等学校教職員
食育推進校の指定※1	児童生徒・地域性等を考慮した実践研究、地産地消の取組等	年間	各食育推進校	9校 (小・中6校、高2校、特支1校)
学校食育実践研究大会(地区大会)※1	各地区における食育実践発表等	令和8年9月～2月	県内6地区 各教育事務所単位	市町教育委員会関係者、学校管理職、食育担当者 栄養教諭・学校栄養職員、保護者、地域住民等
食育実践発表会※1	前年度の食育推進校による実践発表、有識者による食に関する講演等	令和8年8月	神戸市	347名 (R7)
<b>新規</b> 学校発×食育動画コンテスト	食育動画等の募集、評価の高かった作品の紹介・表彰等	令和8年12月(予定)	神戸市	教諭部門(県内公立小・中・特別支援学校) 高校生部門(県立学校高校生※2)

## イ 栄養教諭を中核とした食育の推進

取組	内容	期日	場所	参加者及び関係者
学校給食衛生管理推進研修会(全体研修)※1	栄養教諭の実践的な指導力の向上を図るため、栄養管理、衛生管理、食に関する指導等に関する研修を実施	令和8年11月(予定)	県庁周辺	66名 (R7) 栄養教諭・学校栄養職員、市町教育委員会関係者
食に関する指導研修会	栄養教諭に必要な知識等の習得、資質の向上を図るため、食に関する指導の実践事例を用いた研究・協議等を実施	令和8年12月(予定)	未定	21名 (R7) 栄養教諭・学校栄養職員

※1：(公財)兵庫県スポーツ協会共催事業

※2：中等教育学校後期課程在学生及び特別支援学校高等部在学生を含む

# I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

## I 健康教育・食育の推進

保健安全にかかる教育や管理並びに学校保健安全体制の充実  
学校教育活動全体を通じた食育を推進。家庭や地域等との連携

生涯を通じて自ら健康で安全な生活を送るための資質・能力を培う  
生涯にわたる望ましい食習慣の形成や食に関する自己管理能力を育成

### (2) 学校における食育の推進

14,224,824千円

#### ウ 学校給食の衛生管理の充実

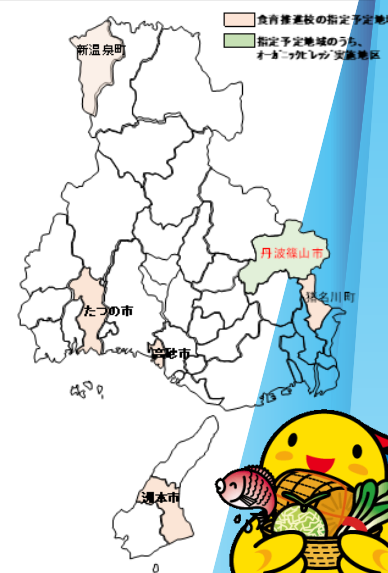
取組	内容	期日	場所	参加者及び関係者
学校給食の衛生管理等に関する調査研究（文部科学省委嘱事業他）	学校給食施設の衛生管理面の実態調査及び改善指導等	令和8年 6月～2月	県内7調理場	衛生管理の担当指導主事及び指導者
学校給食衛生管理研修会	「学校給食衛生管理基準」等の趣旨を徹底するため、兵庫県における食品衛生の現状と課題等を共有	令和8年 7月(予定)	県庁周辺	88名（R7） 栄養教諭・学校栄養職員 市町教育委員会関係者
学校給食衛生管理推進研修会（地区別研修） （(公財)兵庫県スポーツ協会共催事業）	「学校給食衛生管理基準」等の趣旨を徹底するため、食品の衛生的な管理のあり方等を共有	令和8年 7月～8月	県内5地区(教育事務所単位)	680名（R7） 調理員、栄養教諭・学校栄養職員、 市町教育委員会関係者

#### エ 地場産物を活用した学校給食の推進

取組	内容	対象
各種研修会の実施 ※既存の階層別研修を活用し実施	本県の農畜水産物の理解、学校給食への県産農畜水産物活用に係る方策の共有、有機農業を含む環境への負荷を低減する農業への理解 等	栄養教諭 ※R7.3作成「兵庫県がすすめる持続可能な農業と学校における食育」J-フレット等を活用
有機農産物の活用についての実践研究	地域農産物の調べ学習、地域生産者との交流学习等を実施	小・中食育推進校(6校)のうちオガニックレッジ実施地区の1校3市(R7) (丹波市・豊岡市・加東市)



令和8年度食育推進校(小・中学校)の指定予定地域



【教職員リーフレット】

## I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

07

## I 健康教育・食育の推進

保健安全にかかる教育や管理並びに学校保健安全体制の充実  
学校教育活動全体を通じた食育を推進。家庭や地域等との連携

生涯を通じて自ら健康で安全な生活を送るための資質・能力を培う  
生涯にわたる望ましい食習慣の形成や食に関する自己管理能力を育成

## (2) 学校における食育の推進

14,224,824千円

## オ 学校給食費等負担軽減事業

(9,157千円)

新規

## カ 学校給食費支援事業(文部科学省補助事業)

(14,215,067千円)

趣 旨：保護者の負担軽減のため物価高騰による給食費等  
増額分の補助

対 象：学校給食を実施する県立学校及び寄宿舎食を実施する  
県立特別支援学校に在籍する児童生徒の保護者等

対象経費：令和8年度中に追加徴収する学校給食費並びに寄宿舎食費  
補助率：10/10

趣 旨：小学校段階の学校給食費の負担軽減に取り組む市町等  
の支援

対 象：学校給食を実施する市町組合及び県立特別支援学校  
(小学部)

対象経費：学校給食費  
(アレルギー等による非喫食者への学校給食費相当額支援分を含む)

補助率：国1/2、県1/2

## &lt;参考&gt;兵庫県食育推進計画(第4次)【計画年度 令和4年度～8年度】

- 基本理念：「心身の健康の増進と豊かな人間形成、明るく心地よい家庭と元気な地域づくり」の実現
- キャッチフレーズ：「食で育む 元気なひょうご “実践の「わ」を広げよう”」
- 基本方針
  - すべての県民が世代に応じた食育活動をすすめ、元気な地域をつくる
  - 県民が生涯にわたり健全な食生活を実践することができるよう、すべての関係者で持続可能な食を支える環境の整備を図る
  - “ひょうごらしさ”をいかし、「新しい生活様式」やデジタル化に対応した食育をすすめる。  
(ひょうごの五つの国<地域>の特長、震災の経験と教訓)

## &lt;「食育推進計画(第4次)」指標と目標値一覧&gt;

指標	現状値	目標値
公立小中特別支援学校教職員における食に関する校内研修の実施率の増加	75.0%(R6)	100%
食育を7教科の中で実施した中学校の割合の増加	82.2%(R6)	100%
学校給食を活用し、地場産物について指導している小・中学校の割合の増加	90.7%(R6)	100%

## &lt;学校における食育の推進&gt;

- 食に関する指導の充実
  - ・学校教育活動全体を通じた食育
  - ・栄養教諭によるコーディネート
  - ・中学校における食育の推進
  - ・高等学校における食育の推進
- 学校給食の充実
- 食育を通じた健康状態等の改善
- 学校・家庭・地域との連携
  - ・家庭との連携
  - ・地域との連携



【丹波篠山市立今田小学校給食の時間】



# I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

## I 健康教育・食育の推進

保健安全にかかる教育や管理並びに学校保健安全体制の充実  
学校教育活動全体を通じた食育を推進。家庭や地域等との連携

生涯を通じて自ら健康で安全な生活を送るための資質・能力を培う  
生涯にわたる望ましい食習慣の形成や食に関する自己管理能力を育成

### (参考) 他部局関連事業【農林水産部】

学校給食で県産食材を利用するための体制づくりや産地育成を進め、学校給食への県産食材の供給拡大を推進

- **学校給食アドバイザーの派遣** 504千円  
生産者側と給食側それぞれの課題やニーズを調整するための  
アドバイザーを市町等に派遣し、県産食材の供給体制の構築を図る  
派遣先：給食関係者（市町等）、  
産地関係者（生産者団体、加工グループ等）  
派遣回数：最大3回／団体（R7:1団体）  
派遣者：地産地消コーディネーター、有機農業アドバイザー 等
- **情報交換・成果発表会の開催（1回）**  
アドバイザー派遣で得られた成果を共有、需給調整、取組拡大を促進  
内容：成果発表、今後の取組の提案（県域での需給調整等）  
対象者：アドバイザー、農業関係者、学校関係者 等
- **学校給食ファーム育成** 600千円  
学校給食への県産食材供給拡大を図るため、学校給食での使用頻度が高  
い農産物について、安定・継続的な生産出荷体制を構築  
対象：市町、農業協同組合、生産者グループ等（R7:3団体）  
補助率：定額
- **県産有機農産物学校給食活用促進事業** 3,121千円  
児童、学校教諭に対して、生産者等が行う有機農産物の特長や環境学習  
に関する学びや体験機会の提供及び学校給食への食材供給を支援  
内容：学校を対象とした生産者による食農教育（出前講座、農業体験等）  
実施手法：委託（有機農産物生産者グループ等）  
委託費：550千円／1件（上限）  
採択件数：5件（R7:5団体）
- **コーディネート事業者支援** 500千円  
安定的なロット確保及び栄養教諭の業務負担軽減のため  
コーディネート体制を構築する事業者へ支援  
対象：農業協同組合、生産者グループ等（R7:1団体）  
補助率：1/2以内  
補助額：500千円（上限）  
予定件数：1件
- **(新) 県産農林水産物理解促進(仮称)** 562千円  
学校給食における県産農林水産物の利用促進及び児童・生徒  
の県産農林水産物への理解醸成に向け、栄養教諭等を対象に  
県産農林水産物の特徴に関するセミナーを開催  
対象者：栄養教諭等学校給食関係者  
実施回数：5回  
講師：農林水産業者、農業協同組合職員等



# I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

## 2 体力・運動能力の向上

児童生徒に体育・スポーツ活動の楽しさや喜びを味わわせる  
学校体育、部活動の充実

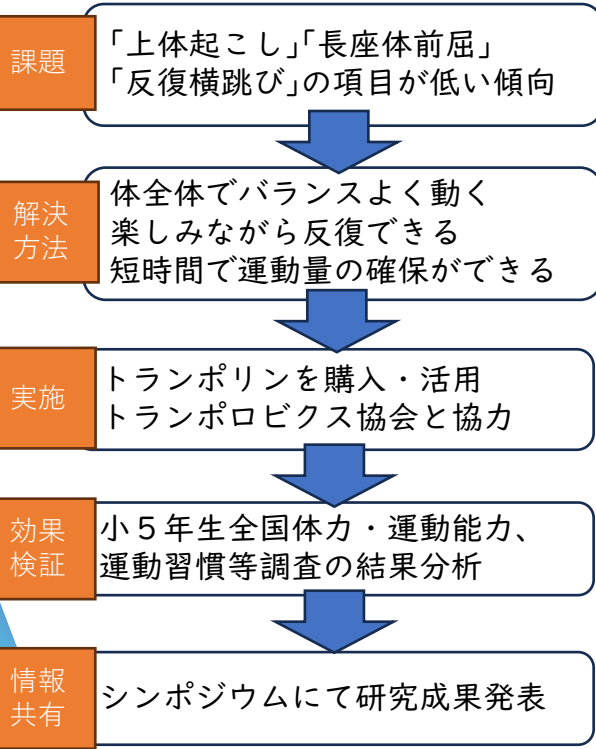
運動習慣を身に付け、豊かなスポーツライフを実現

### 新規 (1) みんなで体力チャレンジプロジェクト 6,052千円

#### A みんなで体力チャレンジぐんぐんキッズ

趣旨：児童の内発的動機付けにつながる授業改善を実施  
内容：① モデル校による授業改善実施  
○ 体力項目の個別課題に特化したプログラム  
○ 運動の楽しさを実感させる授業  
② シンポジウムの開催（研究成果の共有）  
モデル校：小学校18校（6地区×3校）

#### <モデル校の取組事例>



【みんなで体力チャレンジぐんぐんキッズ チラシ】

#### I みんなで体力チャレンジプロフェッショナル (ア) 理解促進・普及啓発

取組	内容	参加者及び関係者
市町組合教育委員会連絡協議会	教育委員会相互の連携強化体制の構築を図り、体力向上施策や県事業の推進に関する情報共有と意見交換を4月に実施	大学や研究機関の有識者、学校体育教員等
学校体育担当者会議	保健体育教員の授業改善や体力向上施策に関する情報交換と指導力向上に関する講演会等を5月に実施	高等学校学校体育教員

#### (1) 調査分析 みんなで体力チャレンジ専門家会議

趣旨：体力向上に向けた取組の在り方を検討  
構成員：学識経験者、地域指導者、教員(小・中学校)、関係機関職員  
開催回数：年間3回  
内容：○ 本県児童生徒の体力・運動能力の現状及び課題の分析  
○ みんなで体力チャレンジぐんぐんキッズの効果的な活用  
○ みんなで体力チャレンジアワードの被表彰校の審査

#### (ウ) 研究発表

取組	内容	期日・場所	参加者
兵庫県学校ダンス研究発表大会	学校ダンスの発展と作品発表による参加者の技術向上を目的とした情報交換、指導助言を実施	令和8年11月13日 丹波篠山市立田園交響ホール	幼・小・中・高・特45名 (R7)
学校体育研究発表大会	授業改善を通じ児童生徒の体力向上を図るため、講演、校種別分科会を実施	令和9年2月4日 神戸市産業振興センター	小・中・高・特の教員等41名 (R7)

## I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

10

## 2 体力・運動能力の向上

児童生徒に体育・スポーツ活動の楽しさや喜びを味わわせる  
学校体育、部活動の充実

運動習慣を身に付け、豊かなスポーツライフを実現

**新規** (1) みんなで体力チャレンジプロジェクト 6,052千円

## (1) 指導者育成・支援

研修会名	趣旨	期日	場所	参加者	対象者
幼稚園・小学校教員 体育実技研修会	系統性を踏まえた指導内容 実技講習・研究協議(事故防止等)	令和8年 7月～8月	県内5か所	194名 (R7)	幼稚園・小学校教員等
体育実技指導力向上 事業の開催	実技講習(幼児の運動遊び、 器械運動系、陸上競技等)	令和8年 8月6日～7日	神戸常盤アリーナ (県立文化体育館)	92名 (R7)	県内の幼・小・中・高・ 特別支援学校教員等
教員スキルアップ 講習会	講義(初心者指導等)、柔道実技 (段階的指導等)、昇段審査	令和8年 8月予定	県立武道館	14名 (R7)	県内の学校体育教員等
	講義(初心者指導等)、剣道実技 (段階的指導等)、昇段審査	令和8年 8月予定	県立武道館	27名 (R7)	県内の学校体育教員等
	ダンス実技(段階的指導等)	令和8年 8月予定	神戸常盤アリーナ (県立文化体育館)	43名 (R7)	県内の学校体育教員等
<b>新規</b> 有識者 コーディネーター 派遣事業	内発的動機付けに繋がる指導体制 の構築。教育現場にコーディネーター を派遣し、授業改善や助言	年2回	6教育事務所	各1校	大学や研究機関の有識者、 スポーツ関連の専門家等
県立高等学校 訪問指導	研究授業、研究協議、運動部活動 指導等の視察及び指導助言	年間随時	各県立高等学校	30校 (R8)	県立高等学校保健体育科 教員

## (1) 顕彰

表彰名	内容	期日・場所	参加者
みんなで体力チャレンジ アワード	体力向上の優れた実践実践で成果のあった学校を優 秀校として表彰及び副賞を贈呈	令和9年2月4日 神戸市産業振興センター	小・中学校10校程度 (R7:小6校、中1校)
部活動(学校体育) 指導者表彰	部活動や学校体育において指導実績を上げた教員の 表彰し、指導者の資質向上と学校体育振興を図る	令和9年3月(予定)	見本となる活動により優秀 な成績を収めた部活動顧問

# I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

## 2 体力・運動能力の向上

学校体育、部活動の充実

児童生徒に体育・スポーツ活動の楽しさや喜びを味わわせる

運動習慣を身に付け、豊かなスポーツライフを実現

### 新規 (1) みんなで体カチャレンジプロジェクト 6,052千円 (カ) 体力・運動能力調査の分析調査

<新体力テスト及び生活実態調査の実施>

調査名	調査対象
全国体力・運動能力、 運動習慣等調査 (スポーツ庁調査)	悉皆調査 公立小学校5年生 中学校2年生の男女
兵庫県児童生徒体力・ 運動能力調査	抽出調査 46,572名(R7) 小176校、中98校、 高34校の男女

体力合計点の平均値 (8種目/80点満点) (単位:点)		男子			女子		
		県	全国	県-全国	県	全国	県-全国
小学校 5年生	R6の値	51.91	52.54	▼0.63	52.65	53.93	▼1.28
	R7の値	52.37	53.03	▼0.66	52.80	53.98	▼1.18
	R7-R6	△0.46	△0.49	▼0.03	△0.15	△0.05	△0.10
中学校 2年生	R6の値	39.71	41.69	▼1.98	45.64	47.22	▼1.58
	R7の値	39.99	42.06	▼2.07	45.65	47.46	▼1.81
	R7-R6	△0.28	△0.37	▼0.09	△0.01	△0.24	▼0.23

運動実施時間平均 (1週間) (単位:分)		男子			女子		
		県	全国	県-全国	県	全国	県-全国
小5	R7の値	571.15	522.93	△48.22	330.98	315.17	△15.81
中2	R7の値	673.40	649.36	△24.04	654.29	624.56	△29.73

体育の授業は楽しいですか (単位:%)		男子			女子		
		県	全国	県-全国	県	全国	県-全国
小5	R7の値	74.7	73.7	△1.0	58.0	57.0	△1.0
中2	R7の値	53.8	56.5	▼2.7	38.0	38.2	▼0.2

運動やスポーツをすることに興味関心がある(単位:%)		男子			女子		
		県	全国	県-全国	県	全国	県-全国
小5	R7の値	65.9	65.3	△0.6	47.6	47.4	△0.2
中2	R7の値	64.4	64.0	△0.4	43.0	41.7	△1.3



### 新体力テスト8種目

①握力

直立の姿勢で両足を自然に開く。

②上体起こし

両肘と両大腿部が着くまで上体を起こす。両腕は固定する。

背中を箱ける  
90度 マット

③長座体前屈

手のひらから見た手の置き方

初期姿勢  
肩幅の広さで視野を伸ばす。  
前後動作  
1mスケール  
箱の裏とスケールの0を合わせる。

④ボール投げ

⑤立ち幅跳び

計測距離  
両足の中央の位置  
踏み切り線

⑥反復横跳び

100cm 100cm

⑦シャトルランor  
持久走(男子1500m走・女子1000m)

電子音の後、スタート。  
折り返し  
スタート/折り返し 20m 折り返し

⑧50m走

# I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

## 3 部活動改革の推進

教育活動の一環として生徒に広くスポーツ活動の機会の創出  
「いきいき運動部活動(4訂版)」に基づいた活動の徹底

心身ともに健全な生徒を育成する  
体育・スポーツの振興を図る

### (1) 各種大会の状況

219,249千円

#### ア 令和8年度兵庫県中学校・高等学校総合体育大会

(4,948千円)

大会名		期間	種目	参加数
中学校総合体育大会	夏季大会	令和8年7月23日～7月30日	18種目	約9,000名
	冬季大会	令和8年11月14日 令和9年1月11日～1月13日	駅伝 スキー	
高等学校総合体育大会	集中開催期間	令和8年6月5日～6月7日	36種目	約33,000名
	その他	令和8年9月5日～1月13日	アメリカンフットボール・ ラグビー・駅伝・スキー	

#### イ 令和8年度各種全国大会

大会名	期間	開催府県
全国中学校体育大会	令和8年8月17日～ 8月25日	中国ブロック (鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県)
全国高等学校総合体育大会	令和8年7月22日～ 8月21日	近畿ブロック(滋賀県(幹事)・京都府 ・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)

新規

#### ウ 令和9年度全国中学校体育大会兵庫県開催準備

内容：全国中学校体育大会兵庫県実行委員会の設置  
令和9年度開催に向けた大会運営等の準備

開催時期：令和9年8月

開催種目：2競技 ソフトテニス：神戸市

剣道：姫路市



【剣道：県総体試合直前の円陣の様子】



【サッカー：県総体試合の様子】

# I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

## 3 部活動改革の推進

教育活動の一環として生徒に広くスポーツ活動の機会の創出  
「いきいき運動部活動(4訂版)に基づいた活動の徹底

心身ともに健全な生徒を育成する  
体育・スポーツの振興を図る

### (1) 各種大会の状況

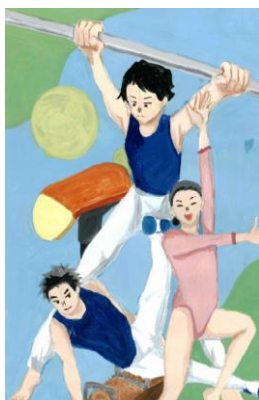
219,249千円

エ 令和8年度全国高等学校総合体育大会兵庫県開催 (214,301千円)

競技名	開催市町	開催施設等	開催日程
体操 (体操競技・新体操)	神戸市	グリーンアリーナ神戸	令和8年7月30日～8月2日(体操競技) 令和8年8月5日～8月7日(新体操)
登山	豊岡市・養父市・ 香美町	氷ノ山・鉢伏山・蘇武岳	令和8年8月6日～8月10日
空手道	姫路市	県立武道館	令和8年8月6日～8月9日
カヌー	豊岡市	県立円山川公苑	令和8年7月31日～8月4日



【全国高校総体ポスター】



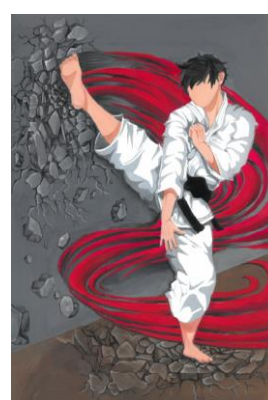
【体操競技】



【新体操】



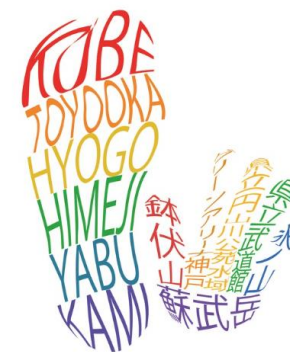
【登山】



【空手道】



【カヌー】



【記念品用ロゴ】

# I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

## 3 部活動改革の推進

教育活動の一環として生徒に広くスポーツ活動の機会の創出  
「いきいき運動部活動(4訂版)に基づいた活動の徹底

心身ともに健全な生徒を育成する  
体育・スポーツの振興を図る

### (2) 部活動の地域展開・地域連携の推進 683,282千円

<部活動地域展開における改革期間（文部科学省）>

ア 中学校の部活動推進プロジェクト(スポーツ庁・文化庁補助事業)

令和8年度～10年度  
「改革実行期間」(前期)

令和11年度～13年度  
「改革実行期間」(後期)

(ア) 中学校部活動地域展開推進事業(体育保健課・義務教育課)  
(553,985千円)

#### <各種検討会議の実施>

会議名	年間	内容	委員
① 部活動地域展開推進委員会	2回	地域展開推進について総括的な判断や協議	学識経験者、関係団体等
② 部活動地域展開推進協議会	2回	課題解決に向けた支援策の検討を行う地区代表者会議	学識経験者、関係団体等、市町教委、学校関係者
③ 部活動地域展開地区協議会	6回	広域的連携に向け、地域の実情に応じた課題の共有	教育事務所担当者、関係団体地区代表、市町担当者
④ 部活動地域展開推進委員会専門部会	3回	実証事業の成果と課題分析具体的な支援策や方向性を検討	学識経験者、関係団体等

#### <組織体制の構築>

体制	趣旨	内容	その他
① 公認指導者の養成	暴力やハラスメント等の反倫理的行為を排除した適切な資質能力の育成	県独自の研修会の実施 (はばタンコーチ資格の付与) JSPO公認資格の取得に要する費用補助	補助金額 上限1万円
② 地域クラブサポートセンターの設置	コンソーシアムとの連携業務など各市町の課題解決を支援	暴力やハラスメント等の相談窓口、 ブカツサポートコンソーシアムと市町とのマッチング	1名
③ コーディネーター兼広報広聴専門員の配置	認定地域クラブの非違行為等への対応など円滑な地域展開推進を図る	市町連携体制構築の支援、エリア内の暴力やハラスメント等の相談窓口	県2名 各教育事務所1名

# I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

## 3 部活動改革の推進

教育活動の一環として生徒に広くスポーツ活動の機会の創出  
「いきいき運動部活動(4訂版)に基づいた活動の徹底

心身ともに健全な生徒を育成する  
体育・スポーツの振興を図る

### (2) 部活動の地域展開・地域連携の推進 683,282千円

#### ア 中学校の部活動推進プロジェクト(スポーツ庁・文化庁補助事業)

#### (ア) 中学校部活動地域展開推進事業(体育保健課・義務教育課) (553,985千円)

##### <補助内容>

項目	内容	対象等
① 県立中等教育学校における実証事業(運動部)	専門的指導者による生徒のスポーツ機会を確保	県立芦屋国際中等教育学校前期課程
② 地域展開に向けて推進体制の整備に要する補助	各市町の改革に向けて必要となる推進体制整備等に要する費用補助	運動部：県内37市町(R8予定) ※29市町(R7) 文化部：県内31市町(R8予定) ※11市町(R7)
③ 平日も含めた地域展開等の加速化のための重点課題※への対応	平日の部活動地域展開の活動の円滑な実施に向けた研究平日の重点課題の解決に向けて取り組む実証事業	県内14市町(R8予定)
④ 休日の地域クラブ活動の活動費等の支援	休日の地域クラブ活動の実施に要する経費について補助	運動部 1,035クラブ(R8予定) 文化部 485クラブ(R8予定) 指導者謝金、事務局人件費、旅費、消耗品等
⑤ 経済的困窮世帯の生徒への支援	経済的困窮生体への地域クラブ活動に必要な参加費、保険料等の補助	①生活保護世帯の生徒 ②住民税非課税世帯の生徒 等

#### ※ 主な重点課題

- 小学校体育専科教師等の指導者としての活用など多様な兼職兼業のモデル形成
- 地元大学等との連携による指導・運営体制の整備
- 学校施設の有効活用(指定管理者制度・民間委託等による管理効率化を含む)
- 平日放課後の地域クラブ活動の移手段の確保
- 民間活力の活用等による持続可能な運営モデルの構築
- パラスポーツの推進及びインクルーシブな活動環境の確保
- 多様なニーズに応じた大会の開催、教師に頼らない持続可能な大会運営体制の整備
- ICT活用による地域クラブ活動の運営業務の効率化
- 暴力・暴言等の不適切行為等に係る相談窓口の開設及び対応体制の構築
- 指導者の資質向上のための公認資格の取得促進や育成プログラムの構築
- 多種目・多世代など地域クラブ活動における新たな価値の創出 等

# I 「健やかな体」の育成

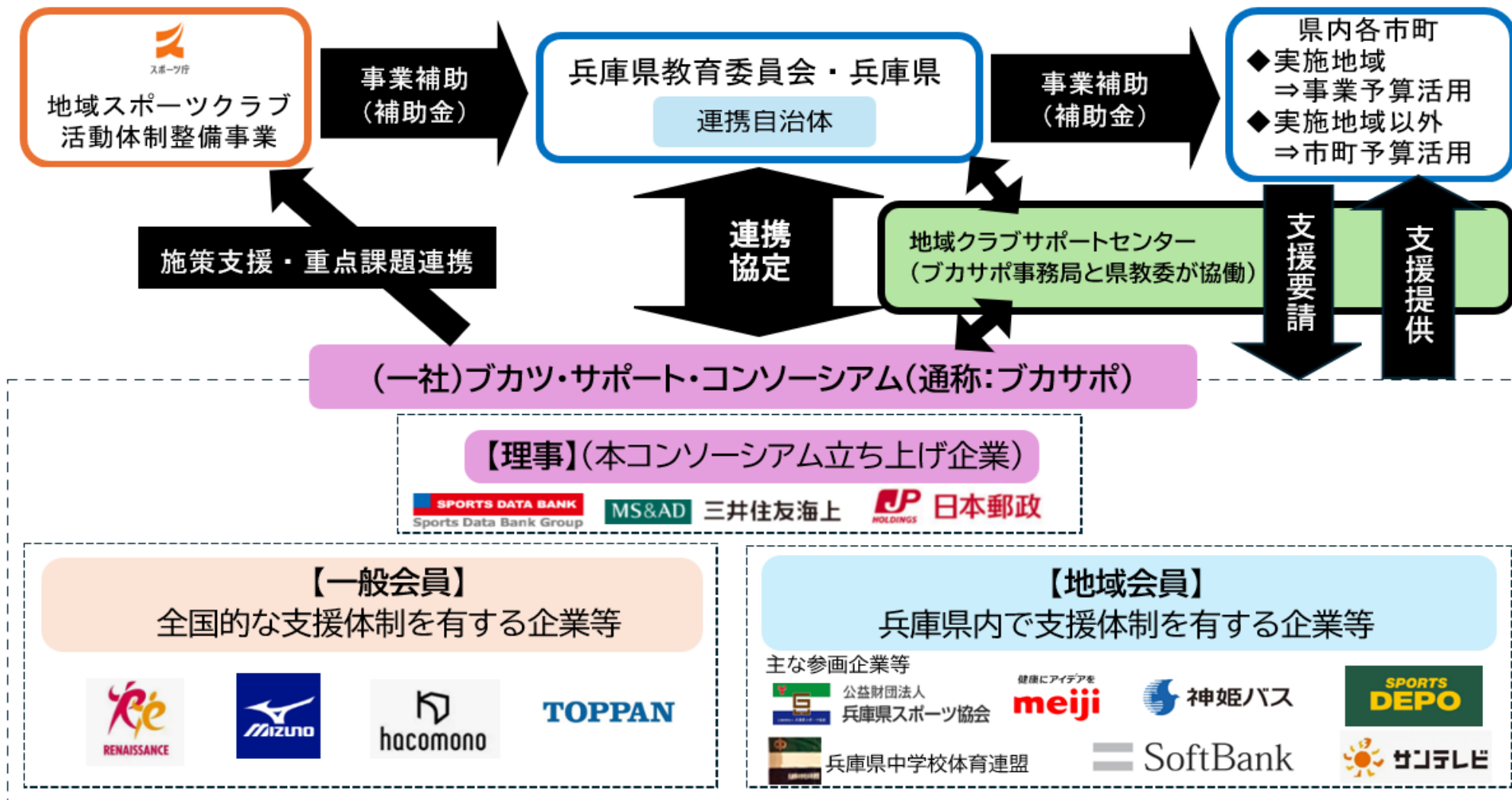
子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

## 3 部活動改革の推進

教育活動の一環として生徒に広くスポーツ活動の機会の創出  
「いきいき運動部活動(4訂版)に基づいた活動の徹底

心身ともに健全な生徒を育成する  
体育・スポーツの振興を図る

<参考> (一社)ブカツ・サポート・コンソーシアム体制図



# I 「健やかな体」の育成

子どもたちが生涯を通じて、心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。  
運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、スポーツに継続して親しむ機会を確保する。

## 3 部活動改革の推進

教育活動の一環として生徒に広くスポーツ活動の機会の創出  
「いきいき運動部活動(4訂版)に基づいた活動の徹底

心身ともに健全な生徒を育成する  
体育・スポーツの振興を図る

### (2) 部活動の地域展開・地域連携の推進

683,282千円

#### 【拡充】イ 中学校部活動指導員配置事業(体育保健課・義務教育課) (115,206千円)

趣 旨：部活動指導体制の充実と部活動を担当する教員の負担軽減を図る  
内 容：部活動指導員を配置する市町に対して経費の一部補助  
業務内容：部活動の顧問として、単独での指導や大会引率等  
配 置 数：31市町組合(R8予定)(R7年度31市町組合328名)

#### 【拡充】ウ 県立学校部活動指導員配置事業

趣 旨：生徒への専門的指導及び県立学校の部活動顧問の負担軽減を図る  
内 容：県立学校に部活動指導員を配置  
配置人数：80名  
日 数：50日/年(105時間/年)  
業務内容：部活動の顧問として、単独での指導や大会引率

#### 【拡充】エ 講師(非常勤)を活用した部活動指導員 (部活動サポートスタッフ)配置

趣 旨：生徒への専門的指導及び県立学校の部活動顧問の負担軽減を図る  
内 容：県立学校に部活動指導員(部活動サポートスタッフ)を配置  
配置人数：80名  
日 数：50日/年(105時間/年)  
業務内容：部活動の顧問として、単独での指導や大会引率


### <令和8年度申請予定(31市町組合342名)>

地区	市町組合名
阪神	尼崎市、西宮市、芦屋市、三田市、猪名川町
播磨東	明石市、稲美町、西脇市、三木市、小野市、加東市、多可町
播磨西	姫路市、神河町、福崎町、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市
丹波	丹波篠山市、丹波市
淡路	洲本市、淡路市、南あわじ市、南あわじ市・洲本市小中学校組合

### <参考>兵庫県部活動地域移行推進計画(令和6年7月25日策定)

兵庫県部活動地域移行推進計画(要点)

【計画P.6 めざす姿】

	<b>目的</b> 中学生がスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことのできる環境づくり
	<b>目標</b> 令和5年度から令和7年度中に、本県各市町組合においては個々の課題を踏まえた円滑な地域移行の検討を進め、令和8年度から以下のとおり実施することを目標とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>各市町組合は、地域・学校の実情に応じて「地域移行型」「地域連携型」「地域移行・地域連携ハイブリッド型」の3つの実施型を参考にしながら、中学生の持続可能な活動機会の確保をめざします。</li> <li>各市町組合は、休日の部活動において、兼職兼業等により指導を望む場合を除き、原則、教職員が従事しなくてもよい環境づくりをめざします。</li> </ul>

## Ⅱ 人生100年を通じた学びの推進

人生を健康にいきいきと過ごすための運動・スポーツを推進すべく、以下の事項に取り組む。

18

### Ⅰ 健康増進施設の充実 ＜健康増進施設一覧＞

県民のスポーツ・体力つくりの場として3施設の充実を図る

兔和野高原野外教育センター  
奥猪名健康の郷・県立円山川公苑

名 称	兔和野高原野外教育センター	奥猪名健康の郷	円山川公苑
所在地	美方郡香美町	川辺郡猪名川町	豊岡市
設置年度	昭和43年度	平成4年度	昭和62年度
設置目的	野外活動を通じて、健全な青少年を育成する。	青少年はじめ、広く県民の心身の健全な発達に寄与する。	勤労青少年の文化・スポーツ及びレクリエーション活動を促進し、広く県民の福祉の増進を図る。
指定管理者	香美町	奥猪名みらい創造プロジェクト 【代表者】 国際ライフパートナー（株）	兵庫県スポーツ協会円山川公苑グループ 【代表者】（公財）兵庫県スポーツ協会 【構成団体】（株）加藤商会
指定期間	令和8～10年度	令和8～12年度	令和8～12年度
主な事業	自然学習、集団生活指導 指導者養成研修 等	自然学習、集団生活指導 指導者養成研修 等	各種スポーツ教室の開設 指導者養成研修 美術展の開設 等
利用延人数 (R6年度)	41,329名	102,939名	84,407名
当初予算額 (R8年度)	96,584千円	62,920千円	101,192千円

### Ⅲ 子どもたちの安心・安全の確保

子どもたちが主体的に判断して行動する力や共生の心を育成  
感染症の流行や災害等、不測の事態が生じた際の子どもたちの学びの保障

#### Ⅰ 安全教育の推進

(1) 学校安全体制整備の充実 **5,800千円**

ア 学校安全総合支援事業(文部科学省補助事業)  
**(3,000千円)**

(ア) 学校安全推進のための取組支援

趣 旨：地域全体での学校安全推進体制の構築  
内 容：実践委員会の開催、関係機関等の連携するモデル地域で実施  
取組内容：学校安全に関する科学技術等を活用した取組  
研修成果発表会の開催  
通学路安全対策アドバイザーの派遣  
日常的な学校の安全を確保する体制整備(含登下校時)  
県警等から講師を招き護身術を含めた不審者対応訓練

(イ) 学校安全対策合同会議の開催

内 容：学校安全対策に関する意見交換、協議  
県内の学校安全推進校の取組の共有  
期 日：令和9年1月25日  
場 所：県立のじぎく会館  
参加人数：90名(R7)  
対 象：市町教育委員会学校安全担当者、県立学校学校安全担当者

学校活動中の事故の防止教育  
登下校中の事件・事故・犯罪等の防止教育

➤ 日常における子どもたちの安心・安全の確保を図る

#### <参考> 学校安全に関する指標と目標値一覧

指 標	現状値	目標値
学校管理下における災害(負傷・疾病)発生件数の減少	42,427件 (R6) (R5: 42,814件)	前年度比減
学校安全教室講習会に参加した県立学校の割合の増加	98.3% (R7) (R6: 99.4%)	100%
登下校の見守り活動が行われている学校の割合 [小] の増加	99.4% (R7) (R6: 99.8%)	100%



【不審者対応訓練(さすまた研修) (宝塚市)】



【通学路合同点検(上郡町)】

#### <モデル地域の取組(令和7年度)>

拠点地域	地域の課題	取組内容	成果/課題
宝塚市 (県立宝塚高等学校)	近隣住民が学校敷地内を通行でき、不審者が学校に侵入する危険性が危惧される	生徒を対象とした不審者対応訓練等で最新のデジタル機器を使用して実施	デジタル機器のリアルタイム映像での確認をすることで、自分事として考える機会の創出
小野市 (市立小野特別支援学校)	全国初の特別支援学校としてセーフティアップ・ロケーション認定。令和7年度からコミュニティー・スクールの導入	児童生徒会が主体的に学校のヒヤリハット事例をリスト化し安全点検を実施	合計65の事例の収集し、「小野市版ヒヤリハット事例集」の作成に活用
上郡町 (町立高田小学校)	町内小学校が7校から3校になり、児童生徒の自転車通学が増加	通学路交通安全プログラムに基づき通学路合同点検し一部改善を図る	県立上郡高校の参加により異校種での安全対策の協議の場の創出

### Ⅲ 子どもたちの安心・安全の確保

子どもたちが主体的に判断して行動する力や共生の心を育成  
感染症の流行や災害等、不測の事態が生じた際の子どもたちの学びの保障

#### Ⅰ 安全教育の推進

学校活動中の事故の防止教育  
登下校中の事件・事故・犯罪等の防止教育

日常における子どもたちの安心・安全の確保を図る

#### (1) 学校安全体制整備の充実 5,800千円

#### 新規 イ 自転車スマートライド推進事業(#チャリスマ) (2,800千円)

**目的** くらし安全課・体育保健課・交通企画課の3課共同で、多角的な自転車安全利用の推進事業を実施し、高校生が、自転車事故の加害者や被害者にならないように自転車の安全運転の重要性を認識させ高校生が自ら考え、主体的にヘルメット着用のルールづくりを促進させる。

新規

#### (ア) #チャリスマ補助事業

**趣 旨**：重大な死傷事故につながりやすい自転車事故を防ぎ生徒の命を守る。県立学校の交通安全教育の充実とヘルメット着用率の向上と定着を目指す  
**内 容**：県立学校における自転車安全利用先行実施校の経費を補助  
**対 象**：県立学校14校程度  
**取組事例**：啓発動画、ポスター、チラシ、のぼり等の作製  
交通安全教室、スクアド・ストレイト体験、講演会等の開催  
文化祭や地域イベント等での展示や発表  
地元警察署や交通安全協会等と連携した啓発活動  
他校の取組状況の共有や意見交換などをするための交流会

#### (ウ) #チャリスマ啓発事業

**趣旨**：市町教育委員会や教職員の安全担当者への啓発  
**取組**：学校・安全行政担当者連絡協議会（行政説明）令和8年6月  
学校安全教室講習会(交通安全や防犯に関する講義)令和8年11月  
自転車ルールブック(R7警察庁作成)の通知や講習会等による周知

#### (エ) 教材等の周知【特殊詐欺対策・くらし安全課、交通企画課】

- 兵庫県警察自転車セーフティアップ・プロモーションプロジェクト(チャリプロ)活用周知
- スローガン・ポスター募集
- 四季の交通安全運動啓発
- 交通安全県民大会協力 等

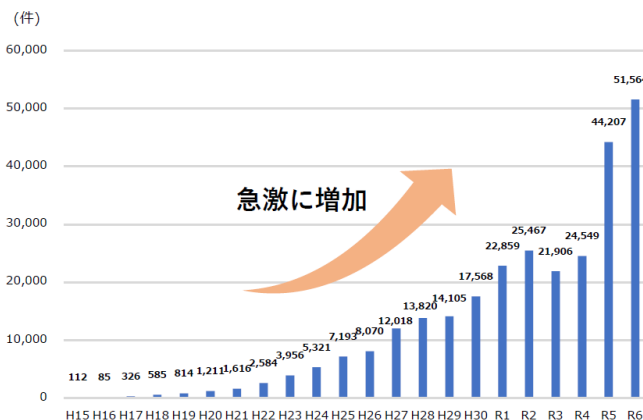
#### (イ) #チャリスマ講習会

##### ① 学校安全教室講習会(文部科学省委託事業)

**趣 旨**：各学校での安全教室の開催を推進  
**内 容**：学校における防犯や交通安全教育に関する講義・講演  
**期 日**：令和8年11月17日～11月18日  
**場 所**：県立のじぎく会館  
**参加人数**：392名 (R7)  
**対 象**：小・中・高・特別支援学校教員、学校安全ボランティア

##### ② 交通安全講習会(文部科学省委託事業)

**趣 旨**：各学校での交通安全教育を推進  
**内 容**：重症事故を防止するための交通安全教育に関する講義・講演  
**期 日**：令和8年7月1日  
**場 所**：県立のじぎく会館  
**参加人数**：187名 (R7)  
**対 象**：悉 皆：県立学校・市立高等学校教員(神戸市以外)  
希望者：私立高等学校教員



自転車の交通違反の検挙件数の推移 (表4)

2026年4月1日から  
～自転車への青切符の導入！～  
交通反則通告制度  
対象は16歳以上！  
こんな違反は反則金の対象  
違反金額は1万円以内

携帯電話・使用等(室内)  
反則金 12,000円

信号無視  
通行区分違反  
反則金 6,000円

イヤホンの使用  
一時不停止 無灯火  
反則金 5,000円

道幅狭切入り  
二人乗り  
反則金 7,000円 反則金 3,000円

兵庫県警察本部 交通部 交通企画課

【「自転車を安全・安心に利用するために」抜粋【警察庁交通局】

【兵庫県警察 交通企画課作成】



兵庫県